

「子供の内面や生活を『豊かにする』
図画工作/美術科の授業づくりについて

茨城大学教育学部
新井英靖

幼児期・学童期の 「豊かな体験」の重要性

発達の源泉は・・・「情動的知覚」

ファミレスで注文用の呼び出しボタンを押して、
店員を呼んでしまった子どもに対して、



用事もないのに、「ボタンを
押してはいけない」って何度
言ったらわかるの・・・！！

親

だって・・・
「

」



幼児

幼児期・学童期は 「情動的知覚」に従って行動している・・・？

水たまりを見つけたら・・・とりあえず、
「ピシャピシャ」と水をはねかせてみる

棚を見つけたら・・・とりあえず、
登ってみる

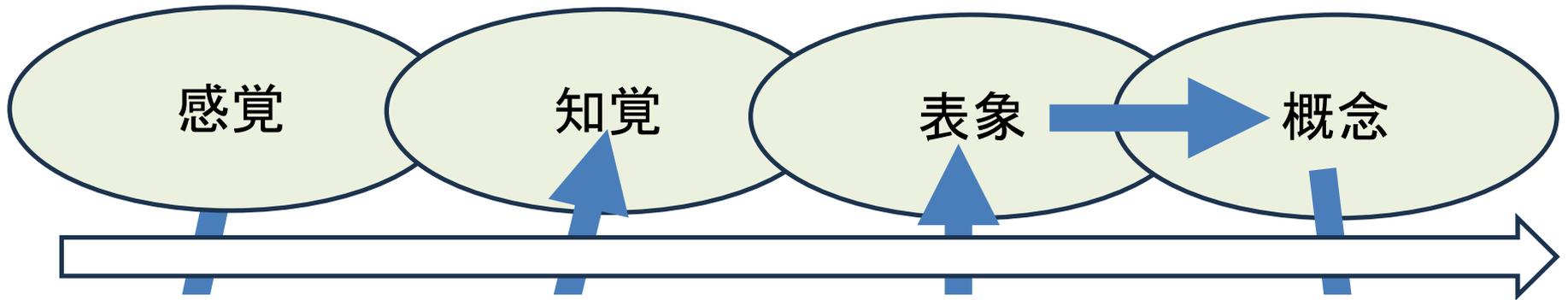
ドアが開いていた
ら・・・とりあえず、
閉めてみる

水がはね
たら冷た
かった

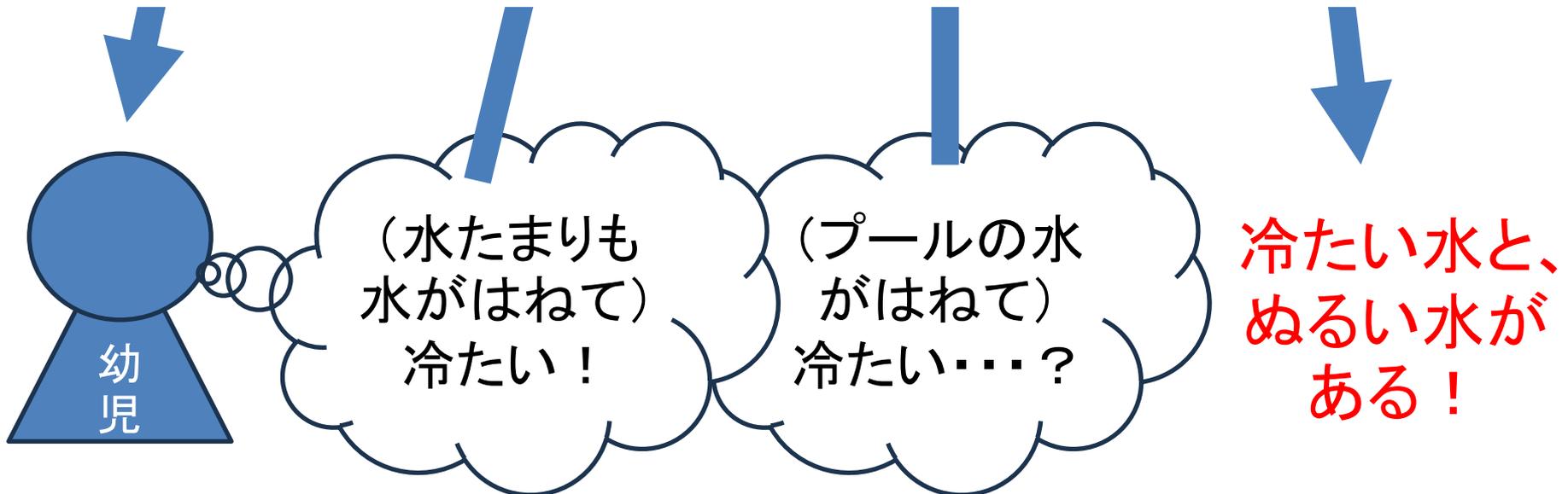
棚の上から覗くと、
足がつかないくら
い高かった

ドアを閉めたときに、
風が顔に当たった

「感覚」を通して認識は発達する



○「言葉」の理解や表出の基盤にあるのは「感覚」
⇒「感覚」はどのようにして「知覚」「表象」へと発展するのか・・・？



「どろんこ遊び」が発達を促す

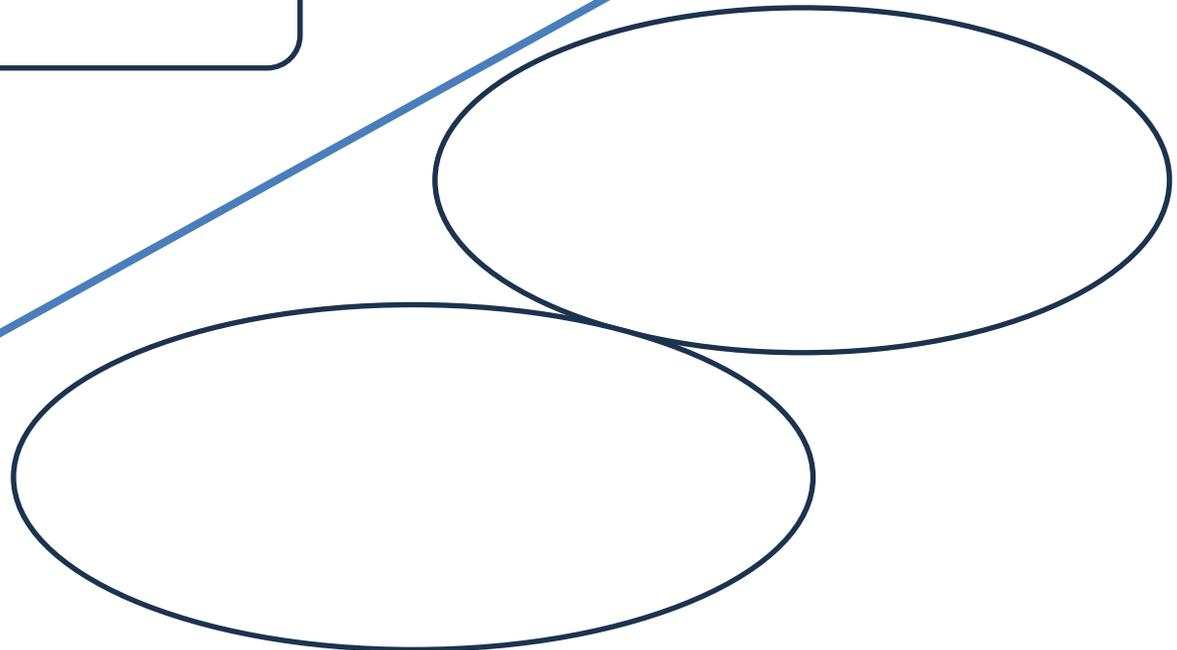
ICT活用／アクティブ・ラーニングの時代に
意図的に行うことが必要な取り組み

水たまりと泥がそこにあったら・・・

粘土をさわっている
うちに・・・

活動

学び

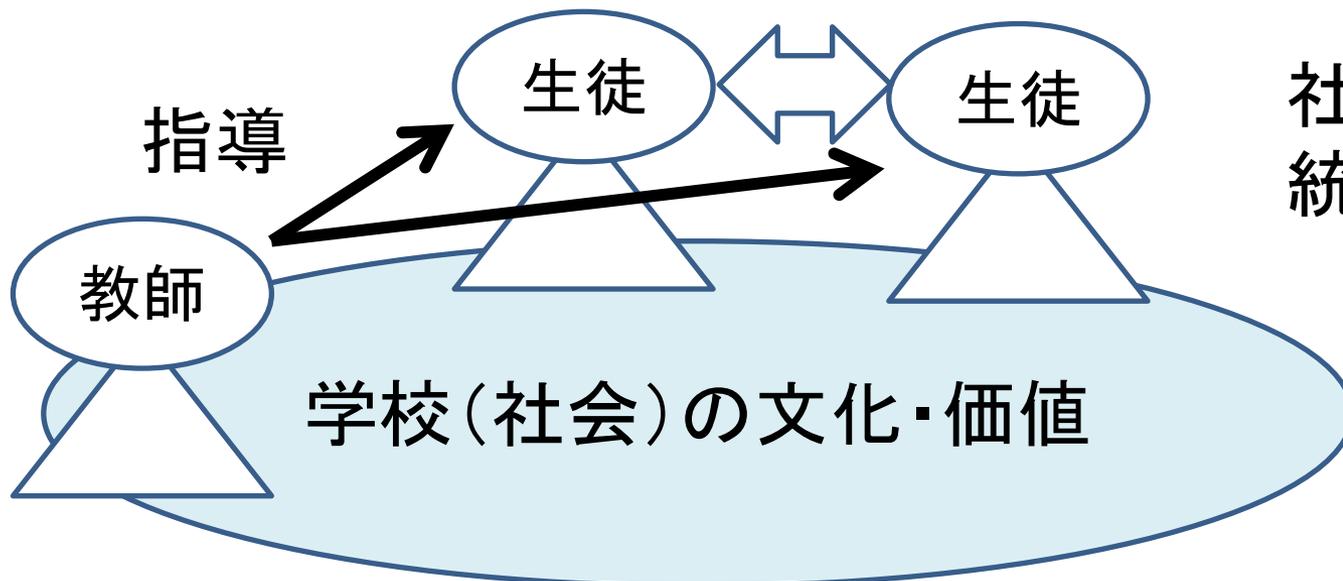


「豊かな生活」につながる
図工／美術・音楽・体育の重要性

「豊かな生活」とは・・・ 「社会とのつながり」がある生活

生徒の目的意識（価値）と学校（社会）の文化・価値が一致している場合には、指導を受け入れ、対話的・協働的に学ぶことが可能である

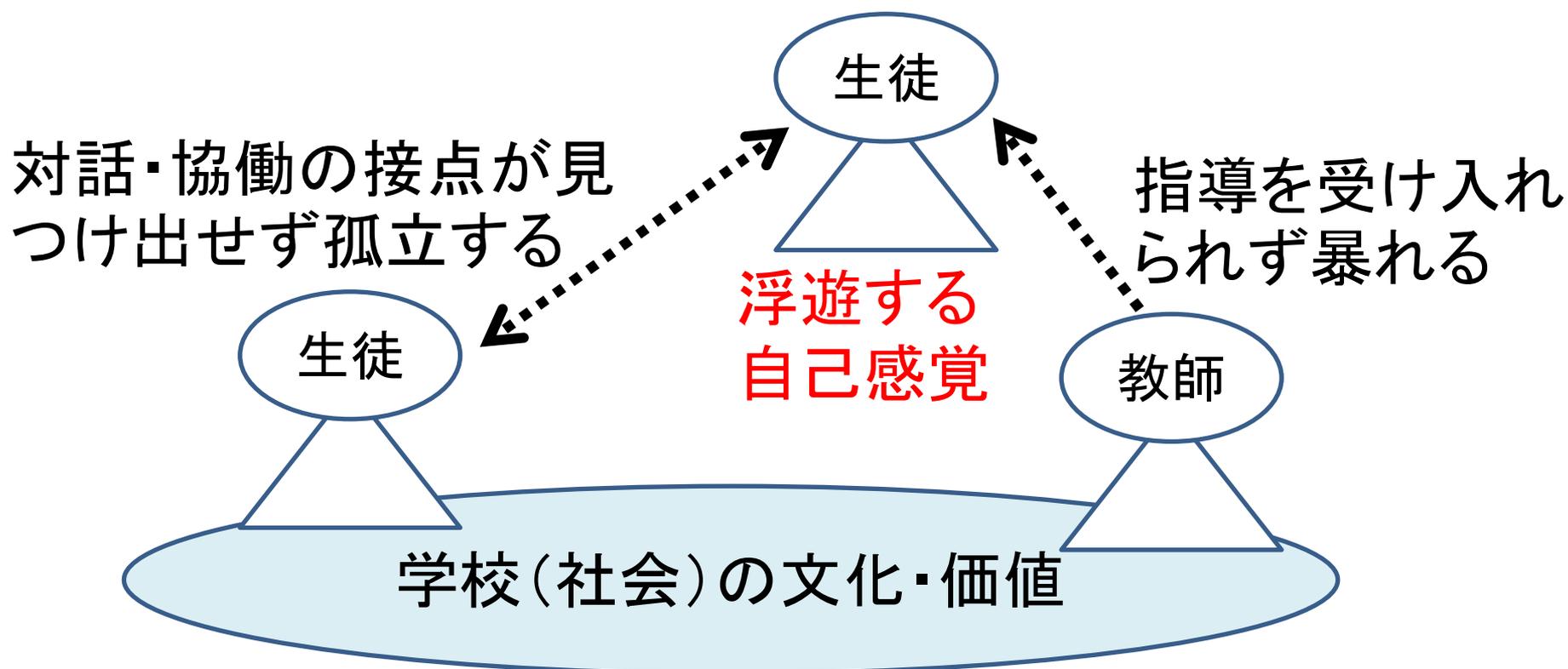
対話的・協働的に学ぶ



社会と自己が
統合された状態

「社会的存在」と「自己」が統一されないとき...

障害や環境等の影響で、つながる人・物・場を意識することができないと、不安定な情緒となる。このとき、不安定な自己をどこに向かわせればよいかもわからない。



不安が負の連鎖が断ち切れない

今日もたくさん課題があるな...

いつまでやらないといけないんだ...

このまま食事もできなくなる！

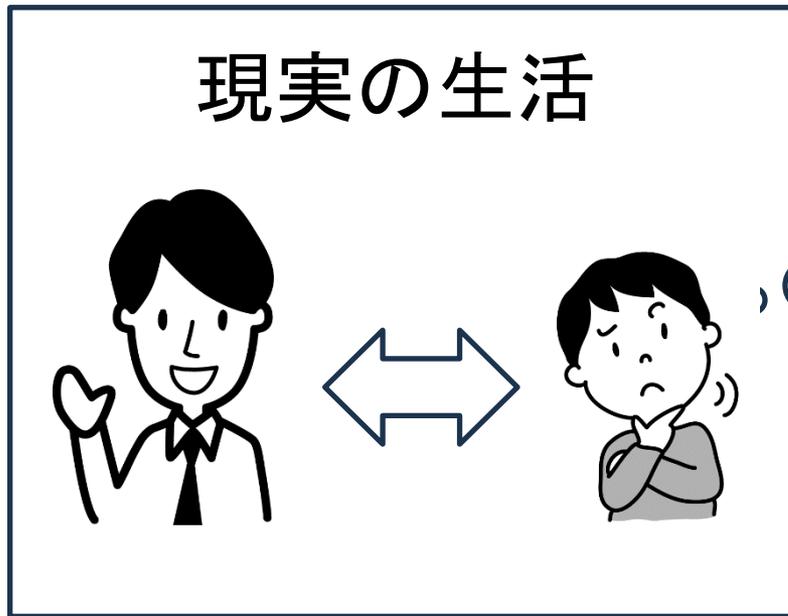
課題が僕を襲ってくる！

パニックや自傷・他害の背景にある気持ち

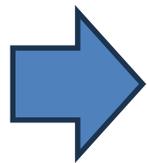
原因を取り除くだけでなく、連鎖を断つ充実した時間が必要

「想像のセカイ」で夢中になって学ぶ

想像のセカイを楽しむ



夢中になって学ぶ時間は、
負の連鎖を断ち切る効果がある



身体的・感覚的に楽しめる図工／美術・音楽・体育
(人間発達の基本教科であり、主要教科である)

美術の授業づくりで
大切にすること

とにかく夢中になって楽しむこと



ひたすらお絵描きを
楽しんだり...



みんなであつ物の
ついたり...

「つくり・つくり変える」過程を楽しみながら、
「私」と「社会(創造物)」が一つになったり、離れたり...
そのなかで、自己の存在が確かなものになっていく

手の発達を「労働」へとつなげる



こっちの手で押さえて、こっちの手はテープを離さないように…

認識力の
成長

+

手の発達

○手を使った活動は認識を成長させる

○手を使った活動が発展すると「労働」になる

粘土で皿を作り、焼く

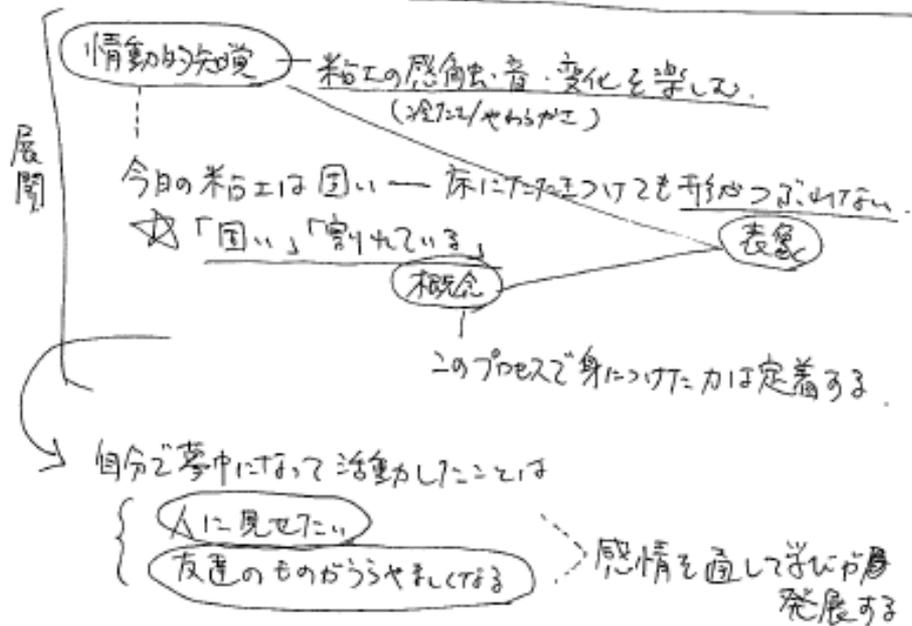
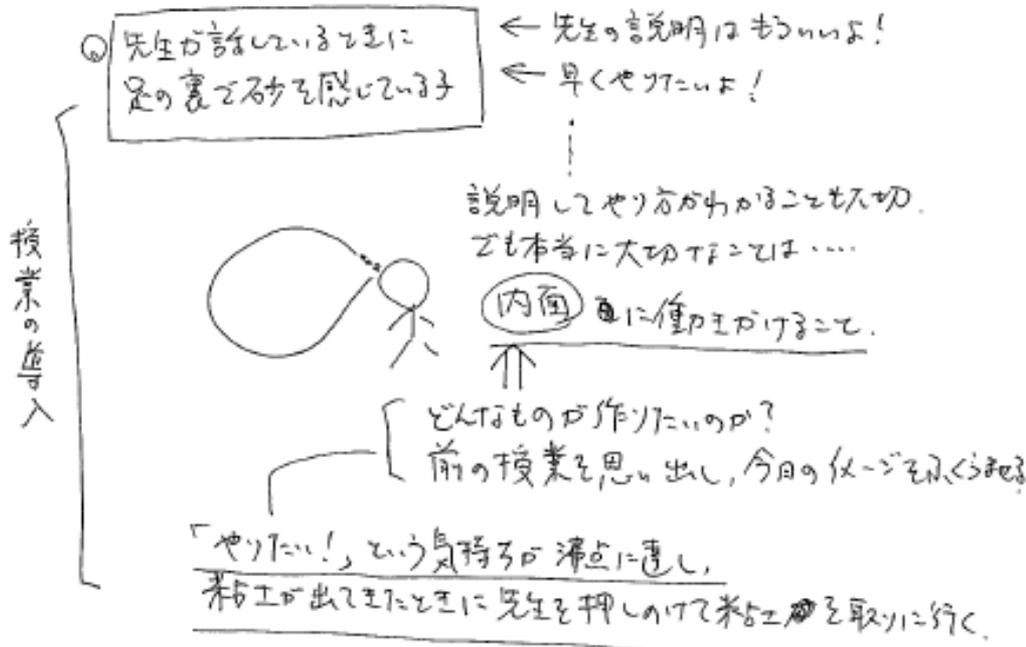
野菜を育てる

など

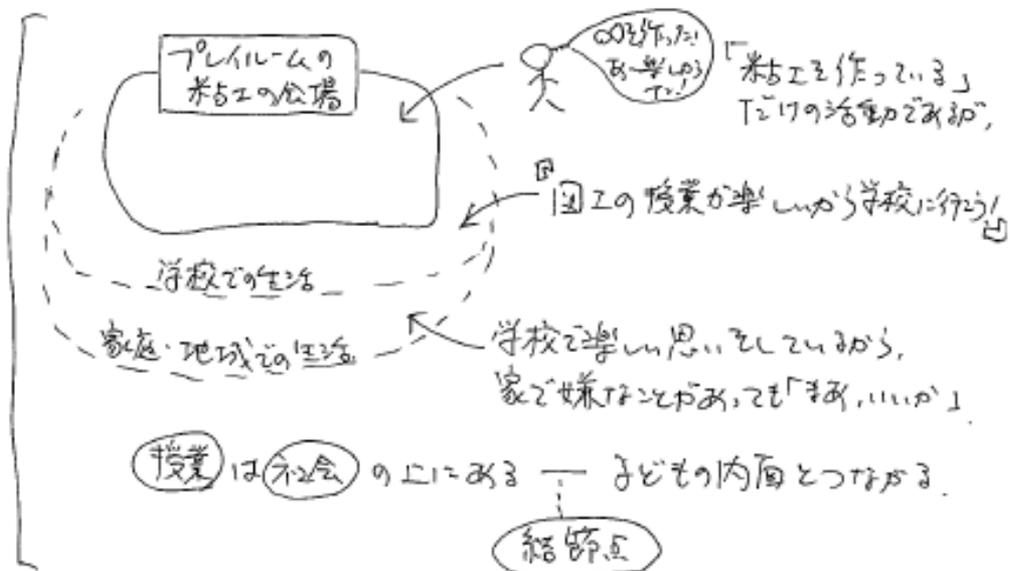
手の発達が手の労働へ、そして生産的労働へ

〔芸術系科目は発達を促す重要な科目〕

①



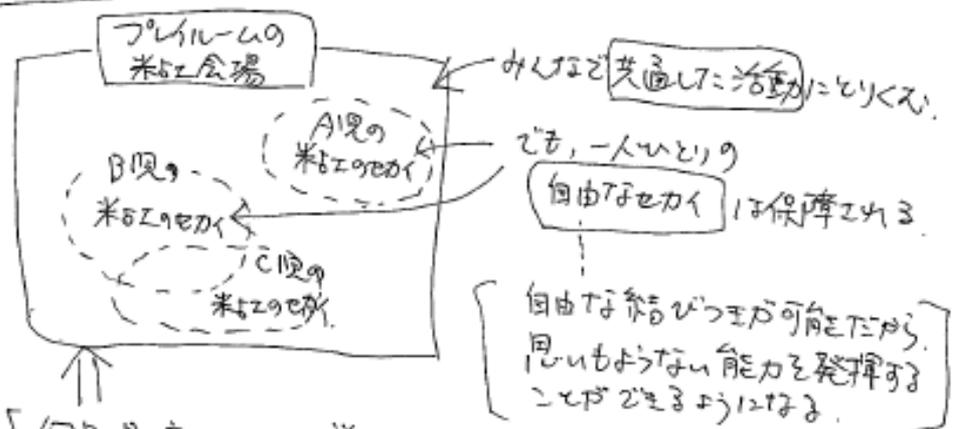
[社会をつなぐ力をもつ国工の授業]



授業は社会の上にある — 子どもが内面をつなぐ。

結節点

★授業の目的は?



★「個別最適化された学び」が求められる時代の授業づくり — 「箱籠」から「プロトタイプ」へ

★「令和の学び」は ICT をかざす — 工具 提示の力など
↳ 使う能力を養ってやるのに。